

「デジタル化実践道場開講事業（現場カイゼン）」業務委託仕様書

1 委託業務名

「デジタル化実践道場開講事業（現場カイゼン）」（以下、「本事業」という。）

2 事業の目的

AIやIoT等のデジタル技術導入による生産性の向上は、企業の競争力強化や人手不足対策の観点から有効である。一方で、その導入に当たっては、導入を検討できる人材が不足しているとの声もある。

本事業は、こうした企業に対して導入に向けた人材育成セミナーを開催することで、企業の生産性向上に向けた取り組みを後押しするものであり、先進事例等を座学で学ぶ「基礎コース」と個別企業のデータを活用する現場対応型コース（「実践コース」）の2つを実施する。

3 事業内容

本事業の実施テーマは「生産設備の稼働状況の把握による現場カイゼン」とする。

(1) 基礎コース

「デジタル技術の導入に向けた社内人材育成のための教育カリキュラムの開発、セミナーの開催及びフォローアップ」の実施

- ・開催時期 契約締結日（令和3年4月中を予定）～令和4年3月
 - ・内 容 ①デジタル人材育成の教育カリキュラムの開発
※主に本県の基幹産業である製造業におけるデジタル技術の活用を念頭に置いた人材育成カリキュラムとする。
 - ・開発期間：契約締結日（令和2年4月中を予定）～5月上旬頃
 - ②デジタル人材育成セミナーの実施
（4時間×4日程度、実際のデジタル技術を活用する実体験を含む）
 - ・開催時期：令和3年5月～令和4年3月頃
 - ・開催場所：石川県内
 - ・参加者：40名（2名×20社程度）
- ※セミナーの一環として各社が自社課題に即したデジタル技術の活用を検討するワークショップも併せて開催
- ③デジタル人材育成のためのフォローアップ
 - ・開催時期：随時
 - ・参加者：40名程度

(2) 実践コース

「デジタル技術の導入に向けた、より実践的な現場対応型人材育成コースの実施（個別企業データを用いた現場対応型研修コース）」

- ・開催時期 契約締結日（令和3年4月中を予定）～令和4年3月
 - ・内 容 ① 個別企業データの収集・分析
 - ② 教育カリキュラムの策定・セミナーの実施
- ※①～②について
標準コース（8カ月）と速修コース（4カ月）の2コースを設け、実践的講座を4時間／回×5日程度（速修コースは3回程度）実施することとし、企業のデータを用いたAI・IoTモデルの作成を行う。
- ・実施時期：契約締結日（令和3年4月中を予定）～令和4年3月

- ・開催場所：石川県内
- ・現場実践企業：標準コースと速修コース計6社程度
- ・参加者：30名程度
- ③ 取組報告会の実施
- ④ デジタル技術導入に向けたフォローアップ
 - ・開催時期：随時

4 委託内容

(1) 基礎コースの実施

(座学を中心とし、デジタル化に係る基礎知識や先行事例、活用ノウハウを習得することを目的とした初級者向けコース)

- ① デジタル技術導入の検討前段階にある企業における業務の現状把握及び課題の抽出
- ② デジタル技術導入に向けた課題の整理及び教育カリキュラムの策定・セミナーの実施
 - ・実際のデジタル技術を活用する実体験を含んだ教育カリキュラムの策定（デジタル技術活用のための基礎データ作成を含む）
 - ・デジタル技術を活用したセミナーの開催
 - ・各社が自社課題に即したデジタル技術の活用を検討するワークショップの開催
- ③ 人材育成及び導入に向けたフォローアップ
 - ・人材育成セミナー期間中及びその後の導入に向けたフォロー

(2) 実践コースの実施

(主に基礎コースを履修した者を念頭に、実際の企業のデータを活用しながら、デジタル技術の活用が実際の企業の課題に対してどう役立つのかを学ぶコースであり、具体的には、必要なデータ項目の洗い出し、データ収集の手法、収集データの分析手法等を学ぶコース)

- ① 実践コース実施に当たっての個別企業データの収集・分析
- ② 教育カリキュラムの策定・セミナーの実施
 - ※①で収集・分析したデータを基にしたAI・IoTモデルの作成と、それをを用いた技術体験を含む
 - ※学んだ成果を発表するセミナーの実施

(3) デジタル技術導入に向けたフォローアップ

(4) 委託成果物（事業実施結果報告書）の提出

5 その他

- (1) 業務にあたり、内容等については、県と協議のうえ実施すること。
- (2) 本仕様書に疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、その都度、県と協議して定めること。